

■企業との連携による森づくり■ 「アドプトフォレスト」

～高槻に続き四條畷でも～

ザ・パック株式会社様の取り組み

平成18年から始まった、大阪府が企業と森林所有者との仲を取り持ち、地域の森づくりを推進する「アドプトフォレスト」。

今では府内各地で森づくりが進められており、大阪府森林組合でも地元調整や企業の森づくり活動に際して、技術指導や各種サポートを行ってまいりました。

その中で平成21年から5年間、高槻市城山地区において、森づくりを行っていただいた「ザ・パック株式会社」様が、新たに四條畷市下田原地区にある「四條畷ふれあいの森」をフィールドに、アドプトフォレスト活動を実施していただく運びとなりました。

活動に際し、高槻市城山地区でのお付き合いかから、四條畷においても、当組合に活動のサポートをお願いしたいと強い要請をいただ



ザ・パック様のアドプトフォレスト活動



アドプトフォレスト調印式(写真前列左から大阪府 竹内副知事、ザ・パック 榎木森専務取締役、栗本組合長、四條畷市 土井市長、大阪府議会 橋本議員)

き、4月28日にザ・パック様、大阪府と四條畷市、当組合の4者による調印式を執り行いました。対象フィールドとなる「四條畷ふれあいの森」は約9haで、野鳥の森やきこりの森、紅葉の森などゾーン分けされた市民に愛される森でしたが、昨今、樹木が繁茂し、整備が行き届かない状況が続いていました。

そこで陽が差し込まなくなった林床に光を入れ、森づくりの過程で伐採された木材を用いて、階段など木製施設を整備するなど、もう一度、市民が集う森に再生する計画としています。

当組合では、ザ・パック様よりご指名をいただいたことに感謝申し上げますとともに、様々な方々と協働して行ってきた活動が、このような形で新たな森づくりに発展したことに、大いなる喜びを感じております。

新たなフィールドである「四條畷ふれあいの森」においても、期待を裏切ることもなく、しっかりとサポートさせていただくとともに、当地での活動が、次の新たな森づくりにつなげられるよう努力してまいります。